

天



神

No. 93

2020.10.20 発行

秋号



40TH Anniversary

天神会創立・40周年記念号

- 天神会創立40周年 祝辞
- NEWS 天神会SDGsキックオフに向けて～法人理念の実践で、持続可能な社会の実現へ～
- 中国デザイン専門学校×障害者支援施設こうのしま荘 コラボ企画「オリジナルウォールアート」完成!
- 医療・福祉業県内初! 「えるぼし」認定



TENJINKAI
SOCIAL WELFARE CORPORATION SINCE 1980

発行：社会福祉法人 天神会 〒714-0044 岡山県笠岡市神島3628-16
TEL.0865-67-4122(代) <http://www.tenjinkai.org/>





祝 40th Anniversary 天神会創立40周年記念号 辞

理事長 岡崎 利治



昭和五十五年十月に神島の地に、社会福祉法人天神会を創設し、四十周年を無事迎えることが出来ました。「愛と献身」を基本理念とし、創設以来、高齢者福祉と障害者福祉に取り組み事業の拡大を図って参りました。今では十七事業所を運営するに至り、ここまで事業の拡大が出来ましたのも、ご利用者・ご家族の皆様を始め、地域の皆様・行政機関・各種団体のお力添えの賜物であり、また全役職員の献身的な努力の結果であると感謝いたしております。

この間、平成十二年四月には、社会福祉法人の運営も「措置制度」に基づく時代から「介護保険事業」の導入により「契約制度」に大きく転換し、介護サービスの多様化が図られ、また平成二十八年四月には、社会福祉法人の大幅な制度改革が行われてきたところです。

天神会では、事業運営の中で積極的に社会的諸課題に取り組み、二〇二〇年度大規模法人部門で「健康経営優良法人ホワイト500」の認定を受けるとともに、女性活躍推進企業として「えるぼし」認定を受け、今後更に取り組みを深化させSDGsに取り組みで行きます。これからも、より地域に根差した施設となるよう努力し、この四十年の歩みの中で築き上げてきたものを大切にし、更なる発展と地域貢献に取り組みで参る所存です。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

笠岡市長 小林 嘉文様



このたび、社会福祉法人天神会が、創立四十周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。貴会は、「愛と献身」を基本方針とし、長きにわたり安全で品質の高い介護サービスに加え、福祉、環境、国際交流、災害対策といった広範にわたる分野での社会活動に取り組みまれ、市民生活の安定と向上に多大な貢献をされてきました。これもひとえに、理事長をはじめ、役職員ならびに職員の皆様のご尽力の賜物であり、敬意と感謝を表する次第です。

現在、笠岡市の高齢化率は三六・五％で、高齢者の中でも七十五歳以上の後期高齢者は年々増加しています。百歳以上の方々も市内に八十名近くおられ、貴会におかれましては多くの方々が高齢を迎えられています。こうした高齢社会

が進展する中、貴会は時代の要請に応え、社会福祉施設の整備はもとより、その運営におかれましても職員が一丸となられて高齢者のこころとからだを癒されてきました。貴会の取り組みにより、多くの高齢者が、この笠岡で生きがいをもって充実した日々を過ごされていきます。また、今日の新型コロナウイルス感染症対策におきましても適切な感染防止対策を実施いただき、笠岡市では閉鎖する事業所もなく社会福祉事業を継続できております。皆様のご尽力に重ねて感謝申し上げます。

これからも社会情勢の変化にも対応し、一層市民生活の安定と向上を図っていただきますことをご期待申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、貴会四十周年へのお祝いの言葉といたします。



社会福祉法
人天神会が創立四十周年を迎えられましたことを、心から、お慶び申し上げます。

昭和五十五年の法人創立以来、特別養護老人ホーム天神荘の開設に始まり、介護老人保健施設、障害者支援施設、居宅介護支援事業所など、幅広く社会福祉関係の施設・事業所の整備を進め、天神会の基本方針であります「愛と献身」の精神のもと、様々な福祉サービスの提供を通じて、地域社会に大きく貢献してこられたその歴史に、心から敬意を表する次第でございます。

少子高齢化の進展、核家族世帯の増加など、社会環境が大きく変化していく中で、安全で安心な地域社会を築いていくためには、これからの福祉施策への取り組みが、ますます重要な課題となっております。

貴会が取り組まれる様々な事業を通じて、地域の人々がお互いに支えあう福祉のまちづくりが、一層進むことを大いに期待しております。

笠岡市議会といたしましても、地域福祉の充実に向けて、尽力してまいりますので、引き続きましてのご理解とご協力をお願い申し上げます。

これまでの弛まぬ努力により迎えられた創立四十周年を契機とされ、これからも、地域に貢献し、明るく親しまれる天神会として、今後、ますます発展されますことを心からお祈りいたしますとともに、長きにわたり、社会福祉の発展・充実にご尽力いただきました関係者の皆様方に心から感謝を申し上げます。お祝いの言葉といたします。



社会福祉法
人天神会の創立四十周年にあたり、心よりお祝い申し上げます。

一九八〇年に笠岡の地で創立されて以来、「愛と献身」という基本理念のもと、時代や地元地域の要望に目配りをされつつ、地域福祉の向上に努めてこられた岡崎理事長をはじめとする天神会の職員の皆さまに心より敬意を表します。

四十年に渡る天神会の数々の取り組みは、岡山県だけでなく日本全国においても注目を集めてこられました。その一つが、二〇一二年より他に先駆けて行っているEPA(経済連携協定)に基づくインドネシアの方々の職員としての受入です。国籍を超えた働きやすい職場づくりに邁進された結果、全国の受入施設の中でも天神会を就労先として希望される方が圧倒的に多く、その職場環境や受入体制、また提供している福祉

サービスについて在大阪インドネシア共和国総領事館からも日本有数の高評価を受けているとお聴きしています。

これは職員の皆さまが、国籍や性別、世代などにとらわれない「多様性」と地域福祉の向上に向けた「高い意識」をお持ちになり、安全で高い品質の介護サービスの提供に尽力されている結果だと思えます。

今までの地域福祉への多大な貢献は計り知れませんが、どうか四十年を通過点とし、この笠岡の地で地域や利用者の方から愛される、なくてはならない拠点として、ますますのご発展をなされますよう心よりお祈り申し上げます。



元天神会理事長
現天神会評議員

山田 雄治 様



社会福祉法

人天神会創立

四十周年をお

迎えになられ

ましたこと心

からお慶び申し上げます。

顧みれば、昭和五十六年御地神

島に地域福祉の先達として産声を

挙げて以来施設は「愛と献身」の理

念の基に役職員心一つにして事業

運営に務められる一方、国・県・

市からは適切なご指導をいただき、

特に地域の皆様からは、暖か

いご支援とご協力を賜り、現在に

至っておられますこと衷心より敬

意を表するものであります。

さて、天神会施設運営四十年の

道程は、筆舌に尽し難い厳しいも

ので有ったと思わしますが、多く

の難関をも乗り切って今では、十

七部門にもなる施設運営をされて

着実に実績を挙げて地域福祉の伸

展に寄与されていることは、一時

期天神会にお世話になった者とし

ては、誇らしくも頼もしい気持ち

で一杯であります。

今、日本は勿論のこと全世界

は、新型コロナウイルスの根絶で

懸命な努力をされております。施

設は過去O157やノロウイルスの

感染症を経験し、感染防止の対策

に全力を尽して参られました。今

期も先の経験を生かして、施設を

守り抜くものと信じております。

創業四十周年、人生に例えれば

壮年期になりました施設は、まだ

まだ充実と発展の余地はありま

す。良き指導者のもと一致団結し

て理念の「愛と献身」を実践して、

ご利用くださる方々に喜んで頂

き、地域社会に貢献される施設経

営を心からお願ひ申し上げます。

沿革

昭和五十五年十月

社会福祉法人天神会設立

昭和五十六年六月

特別養護老人ホーム天神荘開設

昭和六十二年三月

天神荘デイサービスセンター開設

平成二年四月

天神介護老人保健施設開設

平成三年二月

天神荘在宅介護支援センター開設

平成四年四月

身体障害者療護施設このしま荘開設

平成五年四月

このしま介護老人保健施設開設

平成八年九月

このしま介護老人保健施設デイケアセンター開設

平成十年四月

このしま荘「デイサービスセンター」開設

平成十二年四月

天神荘指定居宅介護支援事業所開設

平成十八年十月

天神荘ホームヘルプサービス開設

障害者支援施設このしま荘開設

日中一時支援事業このしま荘開設

このしま荘地域活動支援センター「2

型」開設

井笠圏域障害者相談支援センターこの

しま荘開設

平成二十六年四月

このしま荘障害者相談支援センター開設

平成二十九年五月

就労継続支援B型Apple開設



平成三十年八月

サービス付高齢者向け住宅Prince Court開設



平成三十一年四月

笠岡市認可保育園 社会福祉法人天神会保育園クレヨンIDS開設



天神会SDGsキックオフに向けて

法人理念の実践で、持続可能な社会の実現へ

社会福祉法人天神会は、一九八〇年の創立より社会福祉の重要性を真剣に捉え「愛と献身」を基本理念として、安全で高品質の介護サービスを提供してきました。これまで多くの諸課題に取り組み地域社会へ貢献することで、私たちの存在意義である社会的使命を果たしてきましたが、「社会の将来を支える法人」として、新たな自覚と更なる成長が必要だと実感しています。

四十周年を迎えた天神会は、事業を通じた社会的課題に取り組み、解決へのゴールに向け挑戦し続ける法人であるために、中期ビジョンに基づき持続可能な成長を見据えた新たな取組み、SDGsをスタートします。

これからIT化の進展・エネルギーの転換・更なる消費者のニーズの変化などに伴い、大きな変化を迎えることが予想される社会に於いて、長期的な視点で法人の将来を考え、持続的な発展に繋がる事業展開の計画が必要になってくることは間違いありません。

今、国内外で注目が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）。二〇三〇年に向けた環境・経済・社会についてのゴールは、これまで私たちが取組んできた事柄と重なりあうものであり、更に深化させることで二〇三〇年に向けてのSDGsの達成に貢献できると確信しています。そしてSDGsが関係するグローバルな取組だけでなく、活用によって広がる可能性は大いに期待でき、今後、来年のキックオフに向け準備を進めていきたいと思えます。

SDGsとは

「持続可能な開発目標」

先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の三つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、二〇一五年九月に国連で採択されました。「誰一人取り残さない」というスローガンのもと、貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を二〇三〇年までに達成する十七のゴールです。

天神会における

「SDGsの意味」

SDGsの中には、私たち天神会の事業と関わりのある目標が多くあります。職員全員がこの取組を理解し、目標達成に向けて尽力することが求められています。

天神会の理念体系

われわれは、「愛と献身」を基本方針とし、利用者のこころとからだを癒し、安全で品質の高い介護サービスを提供することで地域社会に貢献する。

将来の社会を支える社会福祉法人



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

コラボ企画

「オリジナルウォールアート」が完成しました！

中国デザイン専門学校 × 障害者支援施設こうのしま荘

障害者支援施設こうのしま荘のエントランス正面に、悠々と泳ぐクジラと満開のひまわりやコスモスが咲くウォールアートが完成しました。

これは、昨年から中国デザイン専門学校ビジュアルデザイン科の学生の皆さんと進めてきた企画で、施設で生活する入居者様に、楽しめる空間を提供してあげたいという職員の思いからスタートしました。

職員と入居者様が依頼したテーマは「海と空」。このテーマを基に、今年一月に開催したコンペティションには、ビジュアルデザイン科の学生八名が参加して下さり、素晴らしい作品が集められました。その中から佐藤綾音さん(当時二年生)の作品が選ばれ、「こうのしま荘が永く続くように願いをこめ、クジラを大きく置いて空を泳がせ、その中に笠岡のシンボルであるカブトガニや魚を入れて、見ていて飽きないようにしました。海と空のテーマから、クジラが空を泳ぐ壮大な構図にしました。」と作品に込めた思いを話されました。



ウォールアートプロジェクトメンバー

当初、どのようなデザインがよいか全く想像することができず不安でしたが、利用者様にアンケートをとり、そのイメージを基に学生さんが様々なデザインを考えてくれました。その中から一つのデザインが決まるとイメージが具体的になり、実現が楽しみになりました。今回、利用者様と学生さんの夢が詰まった作品制作に携わり、一つの企画を最初から最後までプロジェクトメンバーでやり遂げることができ、自分達も成長できたと感じています。



医療・福祉業県内初!

「えるぼし」

認定



七月三十日(木)岡山第二合同庁舎にて、「えるぼし」

認定通知書交付式が行われ、天神会は医療・福祉業において県内初となる「えるぼし(三段階目)」認定をいただきました。「えるぼし」認定とは、女性の活躍状況が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度です。

天神会ではダイバーシティ部会を中心に、女性が活躍できる職場づくりのため、二年前より「女性活躍プロジェクト」を立ち上げ活動してきました。特に、結婚・出産・育児で退職することなく安心して働ける環境を整備するため、法人敷地内に笠岡市認可保育園クレヨンキッズを昨年四月に開設し、育児休暇後もより安心して働くことができるようになりました。このような様々な活動を通して五つの認定基準を満たしたことから、この度の認定をいただくことができました。

今後も女性の個性と能力が十分に発揮できるように、職場環境の充実に努めてまいります。



働き方改革 健康経営

ワークライフバランス推進部会

- ・運動サークル活動
- ・QC活動
- ・IT化の推進

ワークライフ
バランス推進

ダイバーシティ
推進

ダイバーシティ部会

- ・女性の働きやすい環境づくり
- ・外国人労働者の雇用
- ・シニア層の積極的雇用



令和2年9月
おかやま子育て応援宣言企業
「アドバンス企業」

ヘルスケア
推進



令和2年7月
「えるぼし」



令和2年9月
「すまいる宣言5つ星」

ヘルスケア推進室

- ・ヘルスケア推進部会
- ・天神会健活宣言 健康の促進
- ・運動習慣の推進・支援
- ・健康リテラシー
- ・プレゼンティーズムの改善





ボランティア活動報告

特別養護老人ホーム天神荘

茶房てんじん手伝い 宮澤光乃様
生花クラブ手伝い 有岡邦子様、山本睦巳様、後谷清子様



お祝い

ご結婚

特別養護老人ホーム天神荘

松元望華(旧姓高橋)さん 旦那様 誠さん
〔入籍〕令和二年五月二十四日
遠藤 裕三子(旧姓森山)さん 旦那様 雄輝さん
〔入籍〕令和二年七月十五日

こうのしま介護老人保健施設

清水 隆昌さん・望さん(旧姓和田)(障害者支援施設こうのしま荘)
〔入籍〕令和二年八月二十九日

ご出産

障害者支援施設こうのしま荘

新谷 愛美さん・哲矢さん(こうのしま老健)
お子様…あずさちゃん
令和二年八月二十九日生まれ
天神介護老人保健施設
貞吉 千春さん お子様…悠夏(ゆな)ちゃん
令和二年八月三日生まれ

表彰

特別養護老人ホーム天神荘

中国地区老人福祉施設協議会表彰 古宮 和貴さん



ご寄附をいただきました
松浦洋治様、徳永威紀様

皆様の善意に感謝申し上げますとともに、施設のために大切に使用させていただきます。



クイズ

素敵な商品をゲットしよう!

Q1

十五夜に供える月見団子ですが、いくつ供えるでしょう?
① 13個 ② 15個 ③ 17個

Q2

9月1日、関東大震災の教訓を忘れないようにと、制定された日を何というでしょう?
① 訓練の日 ② 震災の日 ③ 防災の日

Q3

秋分の日を中日とした、1週間を何というでしょう?
① 彼岸 ② 対岸 ③ 海岸

応募締切 11月末日

各施設に応募用紙と応募箱を設置します。正解者の中より抽選で素敵な商品をご用意しています。当選者は次回発行の誌面にて発表させていただきます。ふるって応募ください!

夏号クイズ

当選者発表

[夏号クイズの答え]

Q1…② Q2…③ Q3…②

- | | |
|---------|--------|
| 枝木 正様 | 西江 恵子様 |
| 北村 喜三郎様 | 堀 芳枝様 |
| 牧野 政光様 | 石田 浩二様 |
| 廣永 ノブコ様 | 坂本 三慧様 |
| 高田 千鶴様 | 中塚 汐美様 |
| 仁科 公信様 | 倉橋 清一様 |
| 杉原 愛子様 | |

天神会 Information

敬老の日、クレヨンKIDSから各施設の利用者様へプレゼントが贈られ、代表して法人本部署務局長が受取りました。プレゼントは園児の可愛い手形で作った花束の絵で、「元気でいてね」というメッセージが添えられていました。感染症対策で利用者様へ直接お渡しすることはできませんでしたが、園児たちの可愛い想いを届けることができました。

